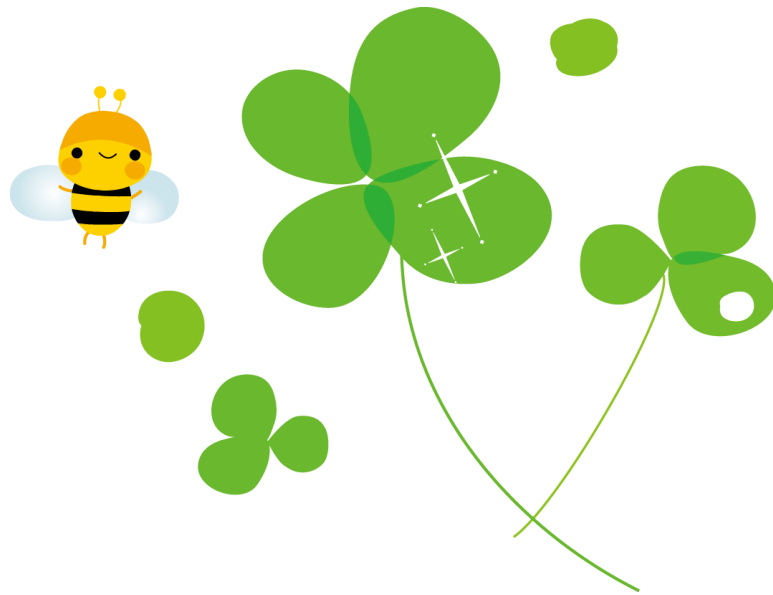


# 市民と市長の対話集会

## 第67回

### タウンミーティング記録集



平成25年5月25日(土曜日)

会場 美住リサイクルショップ

時間 午前10時～正午

東村山市

## ○開催内容

平成25年5月25日（土）午前10時、美住リサイクルショップにおきまして「タウンミーティング」を開催しました。12名の方にご参加いただき、ご意見をうかがいました。

## ●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち5枚を回収しました。

### ・アンケート回答者の住所地

美住町	2人
その他市内	3人
合計	5人

### ・年齢

20代以下	0人
30代	0人
40代	1人
50代	1人
60代	2人
70代	1人
80代以上	0人
合計	5人

### ・性別

男性	3人
女性	2人
合計	5人

## ○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成25年8月17日（土）	栄町ふれあいセンター	午前10時～正午
平成25年9月29日（日）	萩山公民館	午後2時～4時

# タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

## 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。東村山市長の渡部尚でございます。今日は公私共に大変お忙しい中、今回で67回目になります市民の皆さんと私の対話集会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、常日頃は市政の推進にあたりまして市民の皆様にはご理解・ご協力をいただいておりますことにこの場をお借りいたしまして厚く御礼、感謝申し上げますところでございます。

冒頭からあまりいい話ではなくてまずお詫びを申し上げなければならないかなと思っております。今朝の新聞にも出ておりましたけれども、昨日2名の職員を処分させていただきました。実は他にもこのところ不祥事が続いていまして、大きく分けますと事務の不適正な処理、それから非違行為といって非行ということで、実は今、市のほうではそうした事件を4件ほど抱えているところでございますが、今回、そのうち2件について全体図をきちんと把握した上で処分させていただいたところでございます。1件は現在総務部に勤務しております主任職の職員が近隣市のスーパーマーケットで万引き事件を起こしてしまったというものでございます。実はこの職員2回目でございます。心因性のストレスの関係でこういう事件を起こしたのではないかと疑われるところがございます。どのような理由であっても社会人としてあってはならない、また、公務員としてあってはならないことでございますので、今回、この職員につきましては停職3ヶ月という市としてはかなり重い処分をさせていただいて、きちんとお医者さんに見てもらってくるようにという指示をさせていただいたところでございます。もう1人は現在市民部の係長職でございますが、前職の障害支援課勤務時代に団体等への補助金の支出について一部遺漏があったり、不適切な事務行為を長年に亘って繰り返していたということが判明いたしまして、このたび減給10%を3ヶ月という処分をさせていただきました。

その他まだ処分には至っておりませんが、先日、新聞に出ておりましたように当市の教育委員会の職員が西武ドームで野球を観戦しておりましたところ、飲酒をしてトイレでトラブルになって、仲裁に入った方を殴打する暴行事件を起こしてその場で所沢警察に逮捕されるという事件があったばかりでございます。こちらについてはまだ警察から出てきて今、状況を確認させていただいているところでございますが、今後、厳正に処分をさせていただきたいと考えております。もう1つは事務上のミスで生活保護費の支給に誤算定があって、5年間の長きに亘って問題が発見出来なかったということで、こちらについては事務処理のあり方そのものにも問題があったのではないかとということで、広範囲に詳細な調査を行っておりまして、再発防止と併せて今後、当該職員についても処分を行っていく予定でございます。いずれにしましても、このようにこのところ事務の不適正処理、ならびに非違行為ということで、あってはならない事件が立て続けに起こってしまいました。関係者、被害を受けられた方々、そして市民の皆さんには市長として心からまずお詫び申し上げる次第でございます。本当に申し訳ございませんでした。

私が市長に就任して今、7年目でございます。この間も残念ながら毎年のように事件あるいは事務上のミスが発生しておりまして、そうしたことがないように随分取り組みをしてきたんですけど

も今回、立て続けに起きたということで、私自身も非常にショックでありますし、痛恨の極みでございます。最高責任者として私の指導力に結果として力不足な面があったのかな、ということで反省いたしているところでございます。今後は市民の皆さんの信頼を回復すべく、ほとんどの職員は真面目に法令に則って適正に仕事しているわけでございますけれども、こうしたことが再発しないように万全を期してまいりたいと考えております。特に職員のモラル意識の向上、法令意識の徹底、さらには事務に関しましては、今、全庁的にこうしたミスが起きないようにもう一度総点検をして、事務のミスが起りやすいところがないかどうか把握し、これから改善を図ってまいりたいと考えているところでございますので、市民の皆様にもご理解をいただければ幸いかと存じているところでございます。

25年度もスタートしまして、現在、市政の大きな課題について2点ほど申し上げたいと思っております。1つは東京都の事業になりますけれども、東村山駅周辺約4.5キロにつきまして、西武線を東京都が高架化するというので昨年、都市計画決定いただきまして、いよいよ今年から事業認可を取って事業着手に移るという状況になっております。市としても一定の財政的な負担をしなければならぬということで、25年度予算から約9000万円ほど東京都のほうに負担金をお支払いするような予算組みをさせていただいております。鷹の道、それから大踏切等5箇所の踏切を除却して、鉄道で分断されておりました西口と東口を踏切がなくなって相互通行できるようなかたちになる予定になっております。現在の東京都の試算では総事業費600億円を超える大きな事業でございますし、事業期間もスムーズにいて12年間ということで、非常に大きな長期間に亘る事業でございますが、東村山市の中心部分が高架化されることによって、様々な波及効果も期待されるところでございますので、市としてもこれに向けて併せて周辺の道路整備やまちづくりを進めて市の安全・安心、そして活性化に向けて取り組んでいきたいというふうに考えております。

それと今、もう1つ市の大きな課題となっておりますのは、ライフラインを含めて市の公共施設が老朽化をしているということがございます。2年前の3.11でも明らかなように大きな地震等があった場合に、公共施設というのは非常に重要な施設であるわけですが、東村山市の公共施設はだいたい昭和40年代～50年代前半に建てられた施設がほとんどでございます。それらがだいたい40年前後経過して、一度に更新時期を迎えているというような状況でございます。東日本大震災発生以前から災害に強いまちづくりということで、この間、小中学校につきましては耐震補強工事を順次進めてまいりまして、全ての小中学校22校については昨年夏に耐震化工事が完了いたしておりますけれども、外壁やトイレ等についてはまだ未整備ということで、古いままでございます。こうしたものを計画的に整備していかなければなりませんし、市役所の本庁舎、あるいは中央図書館、中央公民館といった主な施設も実は旧耐震基準で建てられておりまして、現在の耐震基準からいうと耐震性能に問題があって、何らかの耐震工事を施さなければならぬんです。市役所については昨年度どういう工事をするか検討したんですけれども、中にかなり壁をつくらないと耐震性が担保出来ない、既存の工事のしかたではなかなか耐震化が進められないということで、現在、再度どのような工法を用いて市役所本庁舎の再生化を図っていくか検討いたしているところでございます。いずれにしても現在、市で管理している建物だけでも190棟近くございまして、一昨年度の調査によりますと、これらを20年間維持するだけで254億円かかるということであります。建て替えや耐震工事を含めると恐らくもっと大きな額になりますし、それからライフラインであります道路、橋梁、それから浄水は東京都の管轄ですけれども下水道は市の管轄でございますので、こういったものを再生整備していくとなると莫大な金額がかかってくるものというふうに思っております。これらを市民の皆さんの生活を維持・向上させつつ再生整備を図ることが、今後、本市にとっては長期的に大きな課題ではな

いかと考えているところでございます。

今年度、それらに向けて第一歩を記すべく公共施設の白書というものを作成させていただきました、これに基づいて今後、計画をつくって計画的に再生整備を図ってまいりたい所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

ちょっと長くなりましたけれども、お詫びと今、市が抱えております大きな2つの課題についてご説明を申し上げます。詳しく聞きたいということであれば後ほどまたご質問いただければと思っております。本日は市民の皆さんより忌憚のないご意見をお受けさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 【会場でのご意見】

～みんなが快適に暮らせる、活力と魅力にあふれたまち～ について

### ◆美住町にコミュニティバス路線を

(美住町 Hさん)

美住町で自治会長と相談をしている。うちの一角はグリーントウンや都営等の公団が多く、高齢者が多いのでコミュニティバスを通してもらえると駅のほうに買い物に出やすい。以前は西武バスが通っていたが廃止になったので、高齢者の方たちがタクシーを使って買い物や病院に出かけている。久米川駅からグリーントウンを回って鷹の道を通って東村山駅のほうに一回りするようバスを通してもらえないかという声が多い。前にもそういう話があったと思うが、その後どうなっているか聞きたい。年々、高齢者が増えていて、早急にやっていただけたら皆さんが助かると思うので、よろしくお願したい。

#### ◎ 市長回答 ◎

ありがとうございます。自治会でということで皆さんの声を吸い上げて今日、要請いただいたということで、ありがたく思っております。

コミュニティバスの関係は、恐らく毎回どの町からもお話をいただくことなので、市民要望の非常に強い課題だというふうに私としては認識しているのですが、やはりコミュニティバスを走らせるとどうしても1路線に2千万円ほど経費がかかるということで、それだけ税金を負担しなければならないということで、全ての町にコミュニティバスを走らせるというわけにはなかなかいきませんので、どういう条件、どういう要件の時にコミュニティバスの新規路線をひくとかという基準づくりをまず進めましょうということで、この間『東村山市地域公共交通会議』という専門家やバス事業者、警視庁の方、あるいは国土交通省の方、あと公募した市民の方にもお入りいただいて議論をさせていただいて、ここでようやくガイドラインが策定されたところでございます。市としては駅から600m以上離れ、かつバス停から300m以上離れている地域を地図に落とし込んで、そこを交通空白地域というふうに位置付けて、今後、路線を新設する場合には空白地域を最優先して路線を検討しようという方針をつくらせていただいたところでございまして、ご指摘のように美住町1丁目は西武バスが廃止されたことによって、現在、交通空白地域ということで、大変ご不便をおかけしているところであります。現在、路線の引き方については、市民の皆さんから「ここにこういうかたちで路線をひいて欲しい」という要請をいただく場合と、市の方から「こういうかたちでどうでしょうか」という2パターンをガイドラインでお示ししておりますので、「行政のほうは動きがまどろっこしい」ということであれば、ぜひ地域の皆さんで「うちの町にこういうかたちで走らせられないか」というプランを立てていただいて行政側に提案いただければ、それについては市のほうも真摯に受け止めて協議させていただくこととしております。もし詳しい説明が必要であれば市役所4階に交通課というところがございますので、そこにお申し出いただいて、冊子やガイドライン等は市のHPにも掲載されていますけれどもそこで差し上げることは可能ですので、それをご覧いただいて、1自治会だけではなくて出来れば美住町全体の自治会の皆さんと連携していただいて提案いただくというやり方をしてい

ただけるとありがたいかなというふうに思っています。

市側のほうは既存路線が3路線ありまして、実は久米川町循環があまり利用されていないんですね。それをどうするかということと、この間の『東村山市地域公共交通会議』の議論の中で、民間バスが170円の運賃に対して市のバスが100円というのは負担の公平性からいうとおかしいのではないかという議論もあって、今年度の『東村山市地域公共交通会議』ではコミュニティバスの運賃のあり方について協議いただく予定にしているところでございます。それら含めてまた市民の皆さんからいろいろご意見いただいて、できるだけ交通空白地域の解消に努めていきたいなというふうに考えていますが、今、バス事業に総額で市から年間5000万円ほど税金を投入させていただいてまして、残念ながらあまりお金のあるまちではないものですから、市民の皆さんの要望が強くても闇雲に新たな路線をどんどんつくるという状況には至っていないのと、東村山市内は道路事情があまりよくなくて、コミュニティバスぐらいの大きさでも入って行けるとところが市内でも限られてしまうということもあって、それらも含めてご提案いただければキャッチボールしながら進めさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

◎ 交通課より ◎

コミュニティバスの新規路線や既存路線の運行改善は、コミュニティバスガイドラインに沿って市民・市・交通事業者がそれぞれの役割を担い、協働で取り組むこととしています。

## ◆ごみカレンダーに広告欄を

(美住町 Hさん)

他市の人から「東村山のごみカレンダーに広告を入れてもらえないのか?」「他市は入っているが、それは財源にはならないのか?」と聞かれた。カレンダーを見ると同じことがずっと下に書いてあるが、これは1箇所に書けばわかることなので、ここに広告が入れば少しは財源になるのではないかと思う。市長はどのようにお考えか?

◎ 市長回答 ◎

言われてみればなんで広告が入っていなかったんだろう…?という感じで、いいアイデアなので早速検討させていただきたいと思います。今年度の分はもう刷って配ってしまっているので、来年度以降、実際広告が取れて入れられるかどうか考えたいと思います。ありがとうございます。

◎ ごみ減量推進課より ◎

平成25年版のカレンダーを作成する際に広告の検討を行いました。カレンダーの日付、種別の表示を大きく分かり易くして欲しいとの要望があること、カレンダーの下ではスペースが小さく広告としての効果が限定的であると印刷会社から指摘されたことから見送ることとしました。この件につきましては、カレンダーの見易さ等を考慮したうえで、引き続き検討を行ってまいりたいと考えています。

## ◆東村山駅東口の放置自転車について

(久米川町 Iさん)

東村山駅前、日曜日はシルバー人材センターの整理員がおらず、信用金庫の周辺は自転車で歩道がいっぱいで、歩行者が通れない。交番に言ったら警察は何も出来ないということだった。市役所で担当職員に聞いたら、今、市で対策協議会というのをやっていて課題には拳がっているが、それ以上のことは言えないということだった。事故があってから対策を取るのでは遅いと思う。

### ◎ 市長回答 ◎

放置自転車対策でシルバー人材センターの方に平日お願いをしているのはご承知のとおりなのですが、土日は出勤がないということでお金の問題も絡むので、日曜日についてはシルバーの方の配置をしていないということなのですが、あまりひどいところについては状況を見ながら対策をちょっと検討する必要があるのかなというふうに思っています。本来は市民の皆さんにきちんと駐輪場に停めていただければお金をかけてシルバーの方を雇って規制しなくても済む話ではあるんですけども、ご指摘のようにあまりひどい状態で事故があってはならないというふうに思いますので、私も現状どんな状況か把握しておりませんので、ご指摘いただいた点を踏まえて所管の職員とも現場を見ながらどんな対応を取ったらいいのか、明日にでも見ておきたいと考えております。ありがとうございました。

### ◎ 交通課より ◎

駅周辺における放置自転車対策員の配置は平日を中心に実施していますが、効果的な対策という観点から、状況に応じて土日等にも対策員を配置している箇所もございます。東村山駅東口の放置自転車対策強化の必要性は認識しておりますので、今後は、近隣集客施設や地域の方との連携を図り、対策員の配置等も考慮しながら、状況に合った対策を講じて参ります。

## ◆放置自転車対策について

(萩山町 Tさん)

放置自転車と無断駐車をどうにかして欲しい。私は目が悪く、自転車によつての怪我が多い。市のほうが甘すぎる。もうちょっとペナルティをものすごくつけて欲しい。やっている人はその気はないだろうが、罰則が2千円ぐらいで中古の自転車を買えちゃう。10万円ぐらいにしてはどうか。市の言っていることを市民がなめている。なめているならそれだけのものを取っちゃう。それで2回目やったら今度は家でも取っちゃう。この市でルールを守りながら生活するのが市民なのではないか。

### ◎ 市長回答 ◎

Tさんから視覚障害者の方が放置自転車や違法駐車車両等で迷惑したり、実際に怪我をされて、どれだけ命を脅かされているかということについては度々伺っているところでありまして、ご指摘のとおり「甘すぎるのじゃないか」と。「なめられているんだったらちゃんと過料を科して一定の認識を市民の皆さんに持ってもらったほうがいい」というご発言であります。私もある意味全く同感でございます。その額が10万円でもいいのかというのはちょっと議論はあると思うんですけども…

100万ぐらいでもいい。

(萩山町 Tさん)



◎ 市長回答 ◎

今、市でも啓発のため、子ども達に「ここに違法駐輪しないでください」という絵を描いていただいたものをゴム製のシートに転写しまして、それを自転車がよく放置される場所の地面に貼ったりしています。子どもが描いた絵で「ここは自転車を止めちゃだめですよ」というようなことが書いてあると、人間の心理としてはなかなか止めづらいということがあって、一定の効果を発揮している部分もあるんですが、その部分だけ置かないでまた違うところに置いたりされるので、いちごっこみたいなものですから、Tさんがおっしゃられるようにびっくりするぐらいの額の過料を科すというのも1つの考え方かなというふうに思いますので、今後、持ち帰ってよく検討したいと思います。

過料になると最終的には議会の議決も必要になるので、議員さんにもご賛同いただけるだけの金額と理屈を考えなければいけないかなと思っています。

◎ 交通課より ◎

放置自転車の移送手数料は放置行為に対する罰金・制裁金というものではなく、放置自転車の移送や保管に要する経費等を原因者に負担していただく「手数料」と位置づけています。また、手数料については一定期間ごとに見直しを行っており、今後も引き続き適正な手数料の設定に努めます。

## ◆タウンミーティングについて

(秋津町 Aさん)

前回初めて伺って、いろいろと発言した。東村山の周囲でこのようなことをやっているか調べたらもうやっていない。小平市と東大和市でやっているようだが、年2、3回で参加できる方も自治会長だったり、神社の氏子さんとか限られた人しか出られなくて、幅広く一般の方がこれだけ参加できるというのはこの市だけのようだ。以前、国でタウンミーティングをやった時は『やらせタウンミーティング』だとかで一時期盛り上がったが、もうどこもやっていないという状態になっているのを見て、「この市だけなんて貴重なんだな」と改めて思った。自分が知ったのも先月、たまたま図書館でチラシを初めてみて、聞いてみたら「今の市長が就任されてから毎月やっている」ということで、全然知らなくて勿体無かったなと思った。これから渡部市長が3期目、4期目とやられると思うが、今後、新たに市長が就任された時に、市長が替わると「前市政ではこういうことやっていたが、私はそういうことは止めて全く違うことを始める」ということで、せっかくのこういう機会がなくなってしまうと勿体ないと思う。ここで出ているような意見も誰に言ったらいいかわからないし、職員に言ってもなかなか実現しにくかったりすることもあると思う。この市として、市長がこういうことをできるように条例で『東村山市長に就任したら必ずやらなければいけない』というような縛りを設けることは可能か？参加者は少ないかもしれないが続けていくことが大事。始まった当初はブログ等に載ったりしているが、最近は見かけないけどツイッターやSNS等で広げていけば市内に知れ渡ると思う。出来たら今後も続けていけるように、そういうことをお願いしたい。

◎ 市長回答 ◎

この市民の皆さんとの対話集会をやるというのは私の1期目の選挙の公約の1つでございましたので、市長に就任したのが平成19年5月1日で数ヶ月間が空きましたけれども準備させていただいて、その年の10月から開始させていただいています。今回で67回ということで、それぞれの地域で様々

なご意見をいただいているところでございます。最初のうちは「市長が来て、市長に直接いろいろ意見が言える」ということで多くの方にご参加いただけて80人～90人ぐらいの参加があったのですが、最近は参加者が伸び悩んでいるというのが我々としては悩みでありまして、やる時間帯や日にち、それから何かテーマを決めてやった方がいいのではないかと、いろいろ試行錯誤をさせていただいてまして、毎年夏休みには市内の中高生を対象とした中高生のタウンミーティングをやらせていただいたり、先日は子育て中の若い世代の方から直接意見を聞こうということで、地域福祉センターの2階にあります「ころころの森」でタウンミーティングをやらせていただいたりしています。今後も気軽に市民の皆さんが参加して、日頃感じておられることを率直に述べていただけるような環境をつくっていききたいということで、私が市長である限りこのタウンミーティング事業は続けていきたいなというふうに考えています。ただ、ご指摘のとおり、これは条例に基づいて行っているものではありませんので、市長が替わってしまうと次の市長さんの考え方で止めることも出来ますし、継続することも可能かなというふうに思います。

これを条例で縛って「誰が市長になってもやるようにする」というのは、そこまで踏み込むのはどうかなというのはいまの段階では感じていますが、いずれにしても今、市のほうではこの地方分権時代、それから少子高齢化が進む中で、しかも市民の皆さん15万人がいろいろな考え方を持っている時代ですので、市民の皆さんの合意形成をどのように図っていくか、それからこれからの自治をどのようにつくりあげていくかということを決める『(仮称)自治基本条例』の策定作業を進めさせていただいています。私どもの仕事というのは基本的には日本国憲法や地方自治法に定められて、その他の法令、それから我々が議会でお決めいただいた条例に基づいて仕事しているわけですが、それ以外の例えばこういった市民参加の取り組みだとか隣市では注目を浴びていますけれども、住民投票も法制度上は定められたことではありませんが条例でやることも可能ではあるので、そういった市民の皆さんが市政にどのように参加をされるか、あるいは我々のほうはどういうふうに市民の皆さんのご意見を受け止めていけばいいのかということについて、一定の条例化を図っていこうという作業を進めています。その中に条例を盛り込んだほうがいいのかどうか、そこは検討させていただく必要があるのかなと思っています。実は昨年、無作為抽出で5000人の方に「今、市ではこういう条例を考えているので、興味・関心のある方は参加して意見を述べてください」ということで市民会議を開催させていただきました。無報酬で18ヶ月に亘って、最初は約120人ぐらいの方が参加して、だんだん減ってきましたが最後まで40人ぐらいの方にこれからの市のまちづくりの進め方についてご議論いただいた中でも「タウンミーティングはいいことなので継続したり、もっと多くの方が気軽に参加できるようにもっと工夫しなさい」というようなご意見は多数いただいているので、それらを踏まえて今後、どこまで条例で踏み込んでやるかどうか、そこは検討させていただきたいと考えております。

◎ 市民協働課より ◎

タウンミーティングの継続実施は第4次行財政改革大綱の実行プログラムにも位置づけられており、市民の皆様のご意見を伺う貴重な場として毎月開催したいと考えております。

参加者の減少については、開催時間を一部平日夜間に行って参加しやすい環境を整えるとともに、広報に工夫を凝らし、多くの方に周知して参りたいと考えております。

◎ 企画政策課より ◎

市民会議より、これまで出された意見等を整理した『報告書』が出されました。概要は、市報の平

成25年5月1日号から毎月1日号に連載しているほか、全文は市ホームページからご覧いただけます。

この『報告書』の内容を踏まえ、現在、条例案の策定作業を行っております。

今回いただきましたご意見を始め、引き続き多くのご意見をいただきながら、策定を進めてまいりたいと考えております。

## ◆タウンミーティングについて（その2）

（久米川町 1さん）

タウンミーティングに人が集まっていない原因について3つ考えている。市民が来やすいように市長が各町に行って活発に動かれていると思うが、回数が多いことによって参加する人のプライオリティーが下がってしまっているのではないかと。私の出身地ではタウンミーティングが年に1回か2回しかなかったため、市長がタウンミーティングをやるとなると一大イベントで人がわーっと集まって満員の状態で入れないということが毎年行われていた。回数が多いことでいつでも行けるということが行かなくなってしまっていることにつながっている。

あと、市のほうでうまく連絡がいかないのではないかと。すぐその7中で運動会をやっている。そこに行っている人がタウンミーティングをやっているのは知っているが、子どものほうが大事だから行けない。この辺りのスケジュールをうまく合わせていかないと行きたい人が来れていない。

あと、以前参加した人なら私と同じような思いをしたことがあると思うが、話をしても市が何か変わるわけではない。市長は聞いてくれるが、その後、行政のほうでなかなか動いてくれないという無力感のほうで動かしてしまうという傾向がある。話したからこうなったんだという手応えがわかるようなものを発信して欲しい。

### ◎ 市長回答 ◎

タウンミーティングについては先ほど申し上げたようにできるだけ市民の皆さんの率直なご意見を聞く場として今後も継続して進めていきたいと思っております。回数が多すぎるのではないかとということもあるのですが、月1回どこかでやっていると何かあれば気軽にそこに行って市長に直接意見を言おうという機会としてとらえていただくほうが、年に1回とか2回よりはいいのかなというふうに感じています。ただ、ご指摘あったように今日は小中学校の運動会が多い日にちにも関わらず、タウンミーティングだと行きたくても行けないじゃないかと。実はこの辺の全体のスケジュールの調整というのはなかなか難しいところがありますが、市民協働課のほうも他の行事と極力バッティングしていない日にちを選んでもらうとか、あるいは平日の夜間に実施するとか、今年は試行的に考えていきたいと思っております。

それから市長に言ってもなかなか変わらないとか出来ていないという問題です。これは実は難しいところで、昨年1回調査したのですが、何をもちょうど出来ているとか出来ていないとかという判断も我々行政側と市民の皆さんではちょっと違いがあるかもしれませんが、このタウンミーティングで出たご意見の7割ぐらいいは何かのかたちで実施させていただいていることがわかっています。ただ、どうしてもすぐにはできることばかりではなくて、例えば先ほどHさんから出たコミュニティバスの問題は数多くいただいておりますが、まだ実現には至っていません。ただ、手順として基準をつくりましたガイドラインに沿って行政側、あるいは市民側から提案できる仕組みは整えてきているというよう

な、100%ではないけれども数10%達成がされている部分もあるということもありますし、なかなか制度的なことでは出来ないというところがあるのも事実なので、そこは極力私のほうからご説明申し上げてご理解いただけるように努力をする必要があるのかなというふうに思っております。

◎ 市民協働課より ◎

開催日時については、開催地域の状況を調査したうえで、可能な限り日程調整し決定するよう努めております。

この度は市長のスケジュールの関係もあり、運動会の日程と重なってしまいましたが、今後も出来るだけ多くの方が参加しやすくなるよう配慮したいと考えております。

## ◆市制50周年に併せて市の写真集の作成を

(秋津町 Sさん)

近々、東村山市制50周年になる。市制50周年は歴史的に1つの区切りになるので、東村山市の写真集をつくってはどうか。郷土資料館や個人の古い民家に行けば昔の風景や歴史もわかる。意見も多く出ていると思うが、決定する時の議題にそういう写真集をぜひ取り上げてはいかがかなと思う。

◎ 市長回答 ◎

ありがとうございます。明年、平成26年は東村山市が町から市になってちょうど50周年の節目にあたりますとともに、ここはかつての野口村になるのだらうと思いますが野口村・廻田村・南秋津村・久米川村・大岱村の旧5ヶ村が合併して『東村山』という地名の村が誕生してちょうど125周年という節目の年ですので、市としては過去を振り返り今日の東村山市を築いてくださった先人・先輩の皆さんに感謝申し上げるとともに、これから日本も大きく様変わりをしようとしている時代ですので、これから50年後、100周年に向けてどんな歩みをしていったらいいのか、市民の皆さん含めて広く考える機会にしていきたいというふうに考えております。事業についてはまだ完全に決まっているわけではなくて、これから詰める作業をしていくんですけど、通常はこの市でも記念の式典をやってそれに伴う何らかのイベントを行うということです。冊子等もだいたいこの自治体の周年事業でもつくっておりますので、それに併せてSさんにご提案いただいた写真集のようなものも作成できるかどうか検討させていただきたいと考えています。今、市で進めているのは50周年に併せて市のキャラクターをつくらうということで、この間、市内の小中学生を中心に1600点ほどキャラクターのアイデアをいただきまして、それを市内の若手職員のプロジェクトチームで30点ほどに絞って、それをさらに市制施行50周年記念事業実施本部で7点に絞らせていただいて、実はこれから市民の皆さんに投票して決めていただくということにする予定にしています。各幼稚園や保育園、学校を回って絵を見ていただいて子ども達にシールを貼ってもらったり、投票箱に投票してもらったり、大人の方については市役所等の公共施設に掲示して投票していただく予定にしています。いいのが選ばれて、出来れば『くまモン』ぐらい人気になるといいなと期待しているんですが、そのキャラクターを使いつつ50周年を盛り上げていきたいというふうに考えています。

それと市が実施する50周年事業だけでなく、市民公募型の事業を行っていきたいというふうに考えています。これも市が「この事業はやろう」とか「やらない」とか決めるのではなくて、前段に実行委員会を組織して、どういうかたちになるかわかりませんが市民の皆さんにもお入りいただいて、

そこで一定の採択基準のようなものをつくっていただいて事業を公募して、最終的には市民に市民事業を判断していただく、まさに市民参加で50周年事業を一部担っていただくというようなことを庁内的には検討しているところでございます。

メインになります式典は、来年10月頃に市民スポーツセンターを会場に予定しています。スポーツセンターを中心に、出来ればさくら通りを活用して同日何らかのイベントが出来ないかなというところで、路上でのイベント事は警察のほうのご了解をいただかないと出来ませんので、今、そういった検討を進めさせていただいています。いずれにしても多くの市民の皆さんに50周年ということを知っていただいて関心を持っていただく必要があるかなと思っていますが、市民アンケートによりますと「そんな余計なことはやらんでもいい」というようなご意見の方も10数%いらっしゃるって、その辺はやはり難しいなというのは率直に感じています。ですから、お金もどの程度かけたらいいのか、そこは慎重に判断しながら、でも50周年というのは1つの大きな節目ですので、市民の皆さんと共に喜んで未来につながるようにしていきたいと考えています。Sさんのご提案は恐らくこれまでの過去をきちんと継承して、残しておくべき写真等をこの際だから収集して一つの冊子にまとめたほうがいいんじゃないかという趣旨だと思いますので、そこは検討させていただきたいと思います。

◎ 企画政策課より ◎

現在、50周年記念の様々な事業について検討を進めているところでございますが、記念映像の制作につきましては、ふるさと歴史館にて保存している周年の記録映像の掘り起こしや、市民の方々がお持ちの写真等の資料の活用を考えております。また、記念式典会場において、東村山市の歴史をテーマとした写真展の開催につきましても議論をしているところでございます。

いずれにいたしましても、歴史的資料をお持ちの方が多くいらっしゃるかと思いますので、事業の実施にあたりましてはぜひご協力をいただきたいと考えております。また、それらを活用した写真集・記録集の制作につきましては、50周年という節目の記録や記憶を残すという意味からも検討を進めてまいりたいと考えております。

## ◆商店街の活性化を

(萩山町 Tさん)

未来のある東村山で未来のない商店街はどのようにしたらいいか。前もお聞きしたが、いずれ商店街がなくなってしまうのではないか。

◎ 市長回答 ◎

ご指摘のとおりで、Tさんと私は同じ地域に住んでいて、特に私が住んでいる地域の商店街の衰退ぶりというのは本当に目を覆わんばかりということで、地元から出て市長をやっているなかなかいい施策・政策が打てないことに私も本当に自分の力不足を痛感いたしているところでございます。

実は姉妹都市のインディペンデンス市も中心市街地はシャッター通りみたくなくなってしまって、郊外にどんどん大きなショッピングセンターが出来ている状況は、ある意味アメリカの中西部の都市とこの辺も似ているかなというふうに思ったところなんです。ただ高齢化が進んできますと、皆さんが車に乗って大型のショッピングセンターに買い物に行けるというわけではなくて、やはり身近なところに日用品や食料品が買えるような状況を保っておかないと、生活が不便になってしまってこの町にはいら

れないということにもなりかねないので、商店街の生き残り・商業の振興というのは、市にとっては大きな課題というふうに考えています。ただ、なかなか決め手がなくて、市もこれまでそれぞれの商工会等を通じて補助金を出してイベントをやる時のお助けをしたりしているのですが、それがなかなか売りに結びつかないということがあります。長年、商工会のほうでは全市共通のスタンプ事業を立ち上げたいということ要望されておられましたので、今回、ようやく東村山市でも全市共通のドリームスタンプ事業というのを市からも補助金を出ささせていただいて開始したところでございます。ただこれも全市共通とはいいいながら、まだ参加いただいている商店数が200に満たない状態です。というのは市も補助金を出しますけれども、それぞれの個店も応分の負担をいただくということで、そこまで自分たちでお金をかけても売りが伸びるかどうかわからないということで、なかなか足の踏まれている状況があります。ただ、その他の中小のスーパーでもポイントを貯めていくことができるようになっていたり、いろいろな販売促進のツールを持っておられて個人商店は何もないということでは、もともと劣勢なところに向こうは大量のいろいろな武器を持っているにも関わらず、個人商店は丸腰で戦いを挑むようなところがありますので、少しでもそういったツールを活用していただいて頑張っていたいただきたいというのが我々の願いであります。

直接お話とは結びつかないかも知れませんが地域的なことをいいますと、萩山駅南口のスーパーがこの間閉鎖されていて、UR都市機構のほうもいろいろテナントを当たって探してきたそうなんです、やはり一定の駐車場がないとなかなかお店を捕まえることが出来ないということで、数日前から店舗の前の広場の一部を改修して若干あそこを駐車場スペースにする工事を始めています。そのことであそこについてはどこか店舗が入るのではないかとというふうに期待されていまして、私達が住んでいる地域は本当に買い物不便になってしまったので、そういったお店が1店でも出てくるとありがたいなと思っているところでございます。地域によっては頑張っている商店街もありますので、市のスタンスとしては存続いただけるようにこれからも努力していきたいと思うのですが、業種によって物販関係は厳しくて後継者もなかなかいच्छらないということで、今の店主の方で「うちは店じまい」というようなご意向のところが多いのがちょっと気になるところで、この辺をどのようにしていったらいいのか。この商店街の衰退というのは当市だけの問題ではなくて、全国的な傾向でありますので、これから東京都や国の補助事業も活用しながら商店街の生き残りに向けて取り組みをしていきたいというふうに考えております。

#### ◎ 産業振興課より ◎

所管としては、商業・商店会の振興、更なる推進に、商工会と連携し「ドリームスタンプ事業」の加盟店増強を課題として挙げております。個店には、加盟するにあたっての負担感より、販売促進の有効なツールであることを説明し、加盟200店を目指しております。市内共通で使えるお店が増えることが、活性化につながると考えております。

各商店会の地域性の特性を生かしたイベントに、市補助金を活用いただき事業効果を上げていただいているほか、国や都の支援メニューなど適宜情報提供し、ご検討をいただいているところです。

また、商店会を明るく歩きやすくするという観点からも、既存商店街路灯のLED化も積極的に進めております。

## ◆市のコミュニケーションについて

(久米川町 Iさん)

市のほうに連絡してもなかなか連絡をもらえないということが多くある。以前、保育園のほうで不正があるということで内部告発を私が仲介して連絡したが、市長は不正の告発をした人には一切聴取せずに問題なかったというふうに結論付けた。犯人から聞いて被害者から聞かないということはありません。その辺も含めてうまくコミュニケーションが出来てない。

あと、私は以前請願を出したことがあるが、連絡を密にとってもらえない議員の方と気にかけてもらえる議員の方との温度差もある。コミュニケーションの取り方について改善して欲しい。

### ◎ 市長回答 ◎

行政と市民の皆さんとのコミュニケーションのあり方ということは、これからの自治体にとっては非常に重要なことだというふうに思っています。ツールとして市報・市のホームページ、それから市民の皆さんからご意見いただくかたちとしては市長への手紙・Eメール、それからこのタウンミーティング、その他、様々な計画づくりには直接・間接市民の皆さんの参加をお願いしていて、アンケートを実施したり、あるいは会議に参加をお願いするケースもあります。市民の皆さんと一緒に事業を行ういわゆる協働スタイルで行うケースも増えてきています。その中で一般論としてIさんのケースということではありませんけれども、できるだけご連絡いただいたことについてはきちんと回答するように努めているところであります。これまでIさんとの間でなかなか相互に理解が進んでいない部分については、私どもとしては解決済みの問題という捉え方をさせていただいているということは再三お伝えさせていただいているとおりですので、どれだけ取り組んでも見解の違いがあって、そこをどうやって埋めていったらいいのかなというのは難しい課題だと思っております。今後も市民の皆さんとは誠意をもってキャッチボール、コミュニケーションを深めてより良い市政を築いていきたいと考えているところでございます。

### ◎ 子ども育成課より ◎

以前にもお答えさせていただいていますが、当課では書類上で審査を行い、不明な点がある場合は電話等で確認を行っています。もしも不正な方法で入所しているケースがある場合、具体的な情報をお寄せください。

### ◎ 人事課より ◎

コミュニケーション能力につきましては、市職員として欠かせない能力要件であり、円滑に進めていくため、研修を継続実施しているところでございます。引き続き、コミュニケーション能力の向上に努めてまいります。

## ◆北山公園の整備について

(久米川町 1さん)

これから北山公園で菖蒲まつりがあり、西武鉄道の広報誌や車内広告等に出ているが、有料にしたらどうか。2、3年前に行った時は木道が乱雑であまり整備されてなく、落っこちてしまうような感じで、駅にポスター等で広報しているが、それに対して行っても「あれ？」というような感じ。有料にしてでも綺麗にして、皆が「来て良かったな」と思うようにお願いしたい。

### ◎ 市長回答 ◎

ありがとうございます。実は北山公園内は一昨年、昨年にかけて整備させていただいて、恐らく以前いらした時よりは今の園内遊歩道についてはもう少し広くとって、車椅子の方でも回って見ていただけるような状況にはなっているかと思えます。出来れば今回、もう一回見ていただいて「この辺まだ改善すべきじゃないか」ということがあればご意見いただければと思っております。

北山公園の有料化ということについては結構市民の方からもご意見いただき、市としても検討した経過もないわけではないんですが、実は北山公園の敷地内にはまだ私有地が残っておりまして、市は全てを買収しきれていないんです。私有地があるエリアを有料施設にするというのは我々としては難しいなというのがございまして、現状では整備に関してはそういった料金をいただかないで全て皆様からお預かりしている税金を使わせていただいて整備に努めているというような状況でございます。今年につきましては公園の前にあります川から給水をしているんですけども、だんだん水量が減ってきている現状がありまして、安定的に綺麗な水を菖蒲田に流すことが大事だろうということから、井戸の掘削工事をさせていただくことにいたしております。井戸掘りもかなり地下深く掘らないとならないということで、結構お金をかけてやらせていただく予定にしていますので、工事してみないとなんとも言えないんですが、飲んでも安全だという水が出てくればそれを『菖蒲苑の水』として今度はそれらをペットボトル等に入れて有料で頒布出来ないかどうかという検討をしようというようなことは、今、考えているところでございます。

菖蒲まつり期間中は市内外から8万人～9万人ぐらいの方にご来場いただく、東村山市にとっては大変大きな観光スポットでありまして、東京100景にも選ばれている公園ですので、市としては毎年定期的にある程度お金をかけながら整備をして、菖蒲だけではなくて春の桜、それから菖蒲が終わったあとの蓮の花や秋の彼岸花等、四季折々花を愛でいただくように取り組みをしているところでございまして、多くの方に来場いただけるようにこれからも努力していきたいと思っております。

特に今年は3月から特急小江戸号が東村山駅に停まることになりましたので、西武鉄道さんにもご協力いただいて、今回、特急停車駅の西武新宿駅・高田馬場駅・所沢駅や狭山駅・本川越駅にもポスター等の掲示をさせていただいて、多くの方にご来場いただくという取り組みをさせていただく予定にいたしております。



## ◆河川の放射能対策について

(美住町 Oさん)

3.1 1以降、原発や放射能のこと等、子どもの安全について活動をしてきた。市には食品の放射能測定を市民参加でやったり、放射能対策を丁寧やっていただいて、きめ細かさで長丁場であるという姿勢に感謝しているが、市だけでは解決できないことがあると行き詰っている。グループで市の測定器を借りて子どもが遊んだり通学したりする箇所空間放射線量を測っているが、空堀川に道路から流れてくる塵やゴミを集めて注ぐ大きな導水管が何箇所かあって、ちょうど明日、川まつりをやるわくわく広場の対岸にある大きな導水管の辺りが0.98~1マイクロシーベルトの線量が測定されていて、私達は高いと思っている。その資料は市長や都市環境部にも渡して、市はその日のうちに、そのデータと地図を持って東京都に話をしに行ってくれた。すぐに対応してくれたことにはとても感謝しているが、東京都からは「文部科学省の周辺よりプラス1マイクロシーベルト高くないと危険とはみなさないというガイドラインを守っていかないとダメだ」ということで頭打ちになった。「じゃあロープとか立て札を立てて」というような話もしたが、「危険じゃないところに危険だなんていう立て札は立てられない」と言われた。流域全部を調べて除染したり立て札を立てていたら埒が明かないと思っていることはわかるが、地域の子ども達がそこで遊んでいる。気がついた時には「そこにずっといないほうがいいよ」という声かけはしているが、川も地域の資源の1つ。市だけでは全く解決できないそういう辺りをどうやっていけばいいのか？どうしたら市民と行政で地域の子ども達の環境を守れるのかなというところで、市長の知恵を貸していただきたい。

### ◎ 市長回答 ◎

以前にもお話いただいて「そのことは東京都にはお伝えします」ということで、直接所管のほうにもいろいろ資料をいただいたのでその足で対応したんだと思いますが、東京都は全都を管理しているので、基本的には文部科学省が出した基準に沿ってでない、東村山だけの個別のローカルルールでは恐らく対応されないだろうというふうに思います。河川についての管理者は東京都なので、市のほうで「今ここは線量が高いですよ」みたいなことを直接川に掲示することは出来ませんけれども、何らかの方法で市民の皆さんにそういうことをお知らせしていく必要性は多少なりともあるのかなとは感じているところです。この様なところがあるということについては、東京都に情報提供をしております。市と東京都、国の安全基準が違ってしまうということについては、市民の皆さんはどれを見ればいいのか等、考えると結構難しいテーマではないかというふうに思います。今の段階で私も即答できるほどの知恵がありませんけれども、そこは課題かなと思っているところでありまして、市が管理しているところであれば今のところの市のローカルルールが一定程度あって、それに基づいて学校等の除染は進めてきた経過があるんですが、ダブルスタンダードみたくなってしまうのは、本当はあまり好ましくないんですけども、管理者が違うところについてどうするかというのは非常に難しいテーマだなと思います。ちょっと検討させていただければと思います。

もし他所の自治体等で自治体独自で東京都の河川や公園について対応をとっている事例等があればご教示いただくとありがたいかなと思います。

◆障害児に対する保育支援の充実を

(野口町 1さん)

先日、民生委員のパネル展がいきいきプラザであり、私が当番をしている時に2、3歳のお子さんを連れて若いお母さんが熱心に読んでいて、民生児童委員というのを始めて聞いたということだった。その児童委員にはどこまで相談にのってもらえるかということでもいろいろ話を聞いたところ、お子さんが高機能広汎性発達障害でアスペルガー症候群だと思いが、物事に強いこだわりがあるが、知能の発達は大変素晴らしいということだった。そのお子さんが認可保育園に通っているが、そこでは水を蛇口から直接コップに入れて飲むように指導されていたが、その子はペットボトルからコップに水を注がなければ飲めない子だった。保育園もそれを知りながら柔軟な対応ができず、結果、脱水症状になってしまったということがあったそうで、そういった子どもをどこの保育園に入れたらいいかという相談を受けた。子どもの脱水となると事故なので、その子に合わせた対応を取ってもらえるよう指導をお願いしたい。それとそういった支えが必要な子どもへの保育士の配置を充実させて欲しい。

◎ 市長回答 ◎

民生委員さんとしてご活躍をいただいておりますことに、まず感謝を申し上げたいと思います。ご苦労様です。どちらの保育園かというのわかりますか？

聞いたが、それはちょっとということだった。

(野口町 1さん)

◎ 市長回答 ◎

そうですね。今、認可保育園だけでなく幼稚園、それから小中学校にもアスペルガー等含めていわゆる発達障害のあるお子さんが一定割合いらっしゃいます。施設の先生方になかなか理解されていないということで、この間、発達障害のあるお子さんの保護者の方からこのタウンミーティングにも随分ご参加いただき、是正を求めのお声をいただいてまいりまして、市としても発達障害について教職員が理解を深めるよう、今、教育委員会等で取り組みをしているところでございます。保育園についても基本的には同様なんですけど、園によってはそこまでの目配り気配りがなかなか出来ていない部分があったのかもしれないので、そこはきちんと対応するように進めさせていただきたいと思います。出来れば後ほどでも結構なんですけど、どこの保育園に通園されていらっしゃるお子さんなのかをご教示いただくとより適切な対応を取れるかなというふうに思いますので、よろしく願い申し上げます。

それと保育士の配置の問題でございますけれども、現在、市では『市立保育園のあり方検討会』というものを立ち上げて、近年、発達障害等を含めて手厚い保育が必要なお子さんが増えているというか、一定割合必ず入園される状況が各園あって、あるいは身体障害だとかの障害のある方もいらっしゃいます。こういう状況の中で、これからそういった困難なお子さん、あるいは家庭的な養育についていろいろ課題を抱えているご家庭のお子さん等については、むしろ公立保育園で積極的に受け入れを進めていったほうがよいのではないかといい議論を今いただいているところでございまして、公立・私立、それから認可保育園等いろいろありますけれども、市の公の保育園で今後できるだけそう

した保育について難しさがあるお子さんについては積極的に受け入れ、あるいは支援するように努めていきたいというふうに考えているところでございます。今の事例の場合はまた後ほどどういう状況なのか確認させていただいて、対応を検討させていただければと思っているところでございます。

◎ 子ども育成課より ◎

今回の事例の園が具体的にわからないので、園長会等を通じてこのようなことの無いように周知徹底させていただきます。

---

---

## ～みんなが楽しく学び、豊かな心を育むまち～ について

---

---

### ◆青少対キャンプの安全対策について

(野口町 1さん)

白州に市の施設があり、青少対では毎年そこを利用して夏のキャンプを行っている。昨年、白州に熊が出たと最近聞いたが、そういった情報が伝わってきていなくて、総会の時に初めて聞いた。今年も熊が出てくるのではないかと委員の中でもいろいろな議論がある。もし安全対策が取れないのであれば子ども達の命も守れないということになってしまうので、そういった対策をどのようにお考えか。

◎ 市長回答 ◎

近年、白州の市のキャンプ場周辺に熊が出没するようになって、昨年はわりと近いところに出たということで、とりあえず各地区委員会のほうに注意をお願いしたということがございます。ただ、昨年キャンプを経験された各地区委員の皆さんから「市としてもきちんと安全対策を考えていただきたい」というお話は直接的にも間接的にも承っているところでございます。出没するのはだいたい朝方と夕方というふうに聞いていまして、出会い頭に会ってしまうと危険な状況があるので、子どもを連れて大武川のほうに行かれたりする時には出来れば鈴などを鳴らしていただいて自衛策を取っていただくことが大事なというふうに思っています。

それともう一つ、皆さんがご心配されているのは、子ども達は屋外のテントで生活するので、もし万が一、夜、熊が食べ物を探しに来たりすると事故になるのではないかとのご指摘をいただいて、私もその危険性は否定出来ないというふうに思っています。昨年は各地区の委員さんが交代で寝ずの番をされたりというようなことがあって、「出来れば青少対のキャンプ期間中、市の社会教育課の職員が常駐して夜間の警備等にあたって欲しい」というご意見は聞いておりまして、現在、社会教育課でもその検討をしているところだというふうに思います。まだ今日は最終的にどうするかまで聞いていなかったなので、今の時点で「職員が行きます」とか「行きません」というのは申し上げられないので、青少年対策地区連絡協議会の総会までには確認してきちんとご報告できるようにさせていただきたいなと思っております。

私も市長になるまでは青少対の地区委員で、毎年キャンプに同行していたのですが、かつて野犬が出るという時期があったんですけれども、その時は私なんか比較的若手ということで「寝ないで寝ずの番をしろ」なんてことで犬が来ると棒切れを持って追っかけたりしていたのですが、さすがに熊だ

とそういうわけにいきませんので、地元の北杜市当局とも相談させていただいています。ただ北杜市は「あれだけ広大な市域で熊があちこち出ているので」というような感じで、ある意味あたりまえの現象のひとつのような受け止め方をされているようなので、我々として何らかの対応を考えていく必要があるのかなと考えております。

◎ 社会教育課より ◎

平成25年6月1日現在、北杜市では熊の出没は確認されておりません。教育委員会としても5月27日に青少年対策地区連絡協議会にて、各地区委員長には今後、熊の出没した時点で教育委員会が協議し、何らかの対応を考え各地区委員長に報告することになっています。

### ◆東村山駅前の市民納涼の夕べの実施について

(美住町 Hさん)

東村山駅前でやっていた盆踊りは、今年はできるのか？農協とか市老連とかいろいろな方たちが一緒に行ってきたが、ここ数年できておらず、またやって欲しいという声がある。あそこの広場に皆が集まって市長も中に入って盆踊りをするのが最高なんじゃないかと思う。

◎ 市長回答 ◎

私も全く同感なんですけれども、実はあの納涼の夕べを主催していただいているのが体育協会さんなんです。昨年はロータリーの使用許可等で出来なかったのですが、今年については何とかできるように市としてもこの間、警察ともいろいろ協議をさせていただいてきたんですけれども、実は主催者であります体育協会さんのほうで、昨年、納涼の夕べを開催出来なかったで、代わりに今年2月にスポーツレクリエーション大会というのを市民スポーツセンターで開催されたんです。先日、会長さんが「新たにそちらの事業を立ち上げてしまったので、体協としては25年度以降、納涼の夕べは実施する考えはない」ということをご報告にお見えになって、私としては非常に残念なので「ぜひ継続していただきたい」ということを申し上げたのですが、経費の問題とか新たに事業を立ち上げてしまったこともあって、結果としては盆踊りを再考していただくには至っていません。ただ歴史がある事業ですし、先ほど申し上げたように年数はかかりますが、今後、駅が高架化されるとどのぐらいの幅になるかはわかりませんが、西口と東口が一体になる状況があり、通路で下を行き来できるようになりますので、駅前でなんらかのイベントを行っていきなというふうには考えています。それを直接市が行うのか、あるいは体協さんにやっていただくのか、その他の違う団体の方々をお願いするのか。そこは少し検討させていただきたいと思うのですが、大変申し訳ないんですけれども、今年はちょっと間に合いそうもないので、来年の50周年にはもう一回、再考出来ればな、みたいなことはイメージとしてはあるのですが、必ずやれるかどうか今の段階では言えませんので、努力したいというふうに思っております。

ちょうど過去2回、あそこの池にカルガモが巣がけする時期にぶつかってしまって、体協さんのほうで自粛をされて、その次に一昨年は震災の影響で、もしかすると電気が使えなくなるかもしれないということで取りやめられて、昨年は道路使用の関係でなかなかすんなりと出来なかったということで、もう4年間やれていないんですね。大変残念であります。

◎ 市民スポーツ課より ◎

体育協会より納涼の夕べの代わりに、平成25年度以降についても、スポレクフェスティバルを開催すると聞いております。

ここ数年は、諸事情により中止となりましたが、大変歴史ある事業であり、多くの市民の憩いの場ですので、今後において再開予定があれば、支援と協力をして参りたいと考えております。

## 【市長まとめ】

本日は長時間に亘りまして様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

ご意見で出ましたようにタウンミーティングにせっかく来て市長に言ってもなかなか実現出来ないということから「もう2度と行ってもしょうがないな」と思われないように、これからもいただいたご意見等については何らかのアクションを起こせるように進めていきたいと考えております。冒頭申し上げたように、こここのところ立て続けに市のほうで不祥事が続いておりまして、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいでございます。今後、再発防止に向けて万全を期して市民の皆さんの信頼回復に取り組んでいきたいというふうに考えておりますので、ぜひご理解・ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げたいと思います。また、本日司会をしていただきました T さんに感謝申し上げて御礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

市民と市長の対話集会  
第67回  
タウンミーティング記録集

発行 平成25年8月  
東村山市役所市民部市民協働課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
TEL 042(393)5111  
(内線2563、2564)